

24

NOTE BOOK

FOR UNIVERSITY
MADE FROM SUPER FINE PAPER

ザイル 試験

昭和30年三月七日起

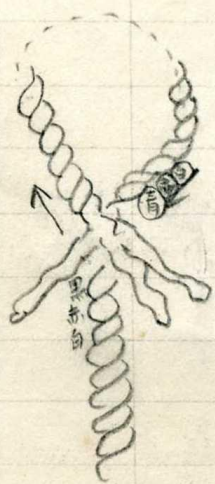
LIB
2

ワイヤ各種抗張力テスト

耐テストワイヤ

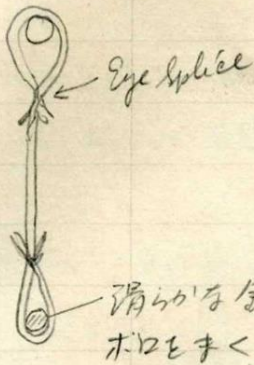
1. 8mm 特殊鋼線 強力索 (以下このワイヤの符号をAとする) 全長抗張力 1030kg
2. 4mm " 普通索 (" B ") " 210kg
3. 12mm 東洋製鋼 赤索 (中古)
4. " 青索 (")
- 5.

全長 eye splice



- | | | | | | | | |
|-----------------------------|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| エドリ (青) → 赤上 → 赤下 → 白上 → 黒下 | ③ | 赤
B | 白
C | 黒
A | 赤
B | 白
C | 黒
A |
| (赤) → 白下 → 黒上 → 赤下 | ② | 白
C | 黒
A | 赤
B | 赤
B | 白
C | 黒
A |
| (白) → 黒下 → 赤上 → 白下 | ① | 黒
A | 白
C | 赤
B | 黒
A | 白
C | 赤
B |
-
- | | | | | | |
|---------------|---|---|---|---|-------|
| エドリ 上から ① ② ③ | ① | 黒 | 赤 | 白 | A B C |
| の字リ 上から A B C | ② | 白 | 黒 | 赤 | C A B |
| | ③ | 赤 | 白 | 黒 | B C A |

8/3 70大の字験に因し.



切断は晝くアイボリス 200番でおこなつた
 8mm + 12mm (薄) 塗料 NO. 2 にかゝり 気の塔 融状
 況を記す、荷のつて 両端に ついた 29955
 一方は 切下てきた

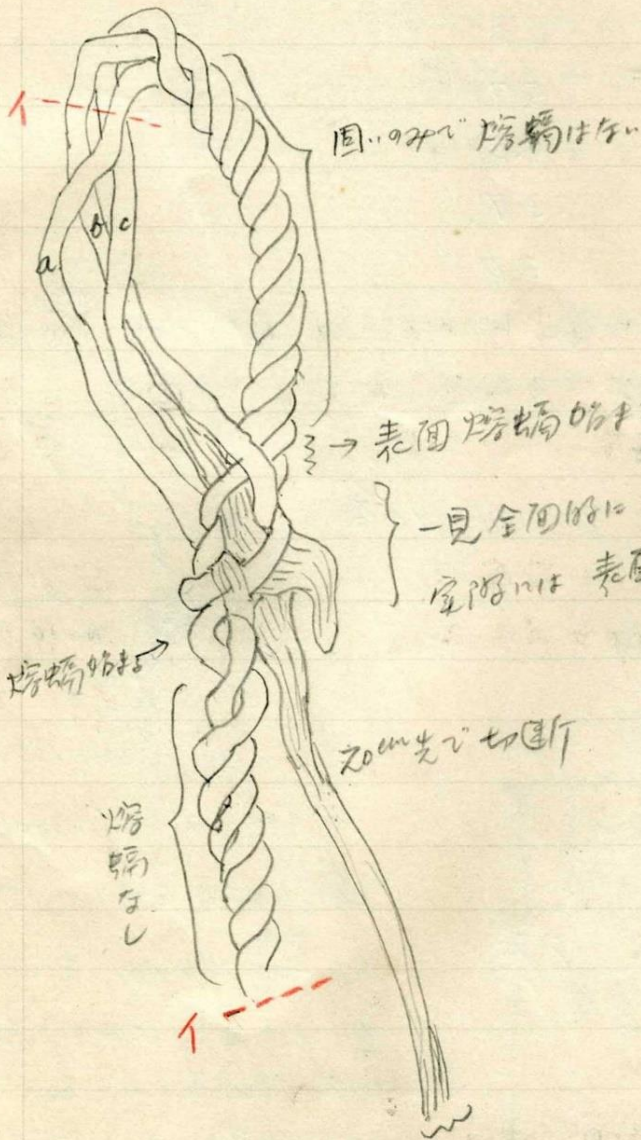
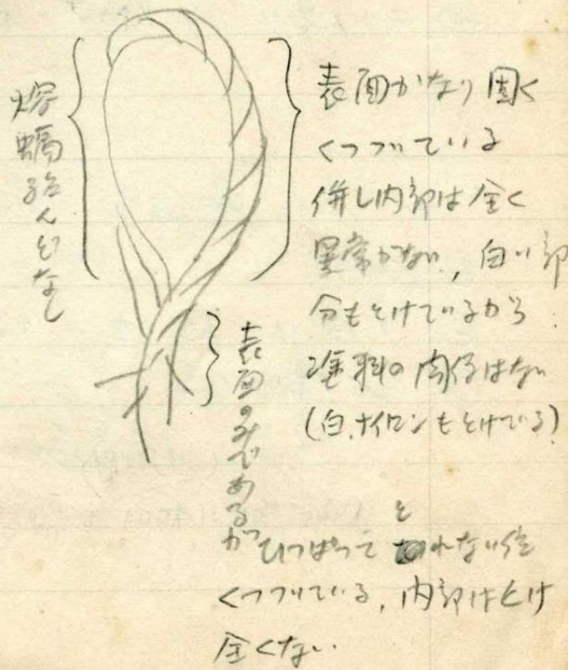


図...の塔 融 状

表面 塔 融 状

一見 全周の塔 融 状は 下切て 2mm 厚の 塔 融 状
 空層は 表面の 塔 融 状 部分 まで 下切て 2mm



表面の塔 融 状は 全
 く 併し 内部は 全
 く 黒色 塔 融 状、白
 色 塔 融 状 塔 融 状
 塔 融 状 塔 融 状
 (白 塔 融 状 塔 融 状)

塔 融 状の 塔 融 状は 単 綫 維
 100本に 1本 塔 融 状

表面の塔 融 状は
 塔 融 状の 塔 融 状
 塔 融 状の 塔 融 状、内 部 塔 融 状
 全 塔 融 状

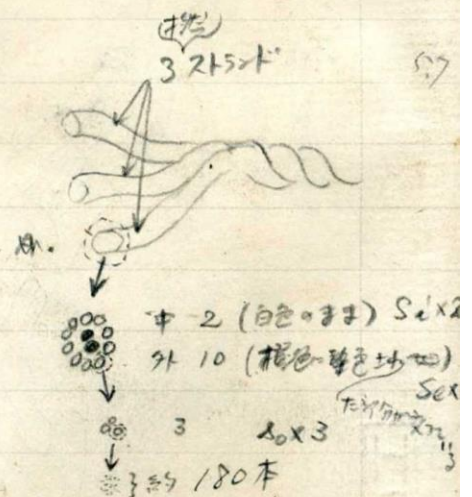
魚川用 Golden 32 黄金 972 6 程 2 級

各種鉄輪直径 (測定は 3 日 3 本に はかる こと)

		直径
1.	カラビタ (A)	11 m/m
2.	カラビタ (B)	9
3.	鉄輪 I	7.6
4.	" II	6.8
5.	" III	5.7
6.	" IV	4.5
7.	" V	3.7
8.	" VI	3.0

8 m/m 強力系 タイロ

- ① 3 摺
- ② 1 摺は 心 2 本, 外 マツリ 10 本
- ③ 夫々は 3 本 あり
- ④ 先の 1 本は 約 180 本



4 m/m 普通系 タイロ

- ① 3 摺
- ② 1 摺は 心 1 本 外 8 本
- ③ 先の 1 本は 約

4 m/m 普通系 タイロ
 3 本の 25x7 は 3 本の 25x7 から 摺り 合せて
 3 本の 25x7 は 中心に 2 本の 鉄線
 束 (水色用 S2 と記号) と 外に 25x7 の
 10 本の 鉄線束 (水色 S2 と記号) を 用い
 て 鉄線束は 3 本の 鉄線束 から 出来て
 いる (水色 S2 と記号)
 3 本の 25x7 は 約 180 本の 鉄線束 から 出来て
 いる (水色 S2 と記号) から 出来て いる。
 (水色 S2 と記号)


白色 8mm x 12mm

① 3枚

② 1枚は 13本 外277 8本

③ 12枚 3本

○ 8mm 3本糸の $\frac{1}{3} \times \frac{1}{12}$, 単糸の 7本

縫いは  した方が、切断は縫い目ではあるが 糸の 限界まで
 11本の 模様、層織物、9.5本、と12本の織物。
 厚さは、全体の織物に比して 薄れているのは 僅少、皆無しの
 Test. I では 皆無とみえた。又 11本の織物と 12本の
 部分の織物は、とれている。

○ 772. コッパリ

No. 6. 切れ口は 最初には 白く 熔断したかの如く
 縫いは ナイフで切ったかの ようである。

ハンネハカリ (20kg) 400 kg

カウビナ { 大 200
 小 150

ハンネハカリ 100 kg. 3.5 kg.

○ 粘性摩擦, 乾性摩擦あり

○ 白墨で黒板に書くとき振動をおこして飛ぶ。白墨、黒板肉に伸びるあや? ... 又トナーをあけるときブルブルという

① ガルをぬらしてやってみる

② 100kgの重りをやってみる

③ 歯車をガルに連結をかけたやってみる

④ 4mmの麻ツケをかかえて、1ヒール活版屋に送る、歯車試験もする



⑤ フラズ実験にかいて 何故 金輪の部分が切れるのか?

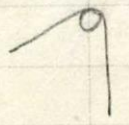

⑥ 繊維は 1ヒールでも よじると 何故切れるのか?

⑦ 針用ガルで 1ヒールは 針を(右向き) ガラガラ針棒で曲部分が内外共切れていた ... この理由 再現

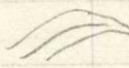


⑧ この針に針にかいて 芯線部の中央、溶接部 45° 45° なのは 何故か、90° フラズ 必要あり

⑨ 切替は必ず 上端で切れる 機構、流体方程式の検討の要あり

○  or  r, d 関係、その影響を把握するか

⑩ どの部分に切れる


⑪  三本針の部分が及ぶか



考察 昭和30年5月6日 樺索から歸る

3月8日 名大工での実験 257 737 I に付いた

糸 12m/m 麻は 747332 結果に 740kg 92% 17%

20g/m 1m を切斷するのに要する力は 737 I から  の 20 倍と計算した

①-②	1064	$100 \text{ kg} \times 0.1 \text{ m} \rightarrow 400$
②-①	840	$10 \text{ kg m} \rightarrow 400$
①-③	148	x 2165
③-①	113	
計	<hr/> 2165	$x = \frac{21650}{400} = 54 \text{ kg m}$

また、登山用 綿糸 20g/m. $K=600 \text{ kg}$ 付いた の時は 13% 以下は 737 から $2165 - 1064 + 60 = 1161$ 目数

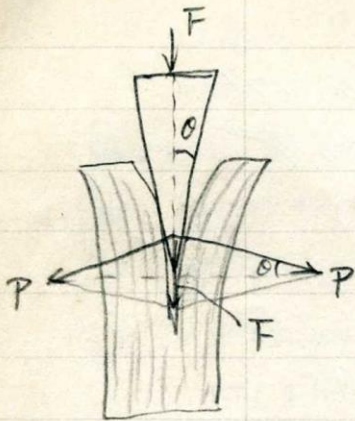
$$\text{故に } K = \frac{1161}{400} = 29. \text{ kg m.}$$

$$K = f(s)$$

$$W = \int_0^{s_0} f(s) ds$$

疑問 全級比。22 kgm とは 如何なる理由か？

○ 髪の毛を皮で切る場合、分子の移動は、

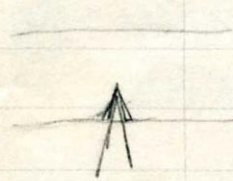


$$\frac{F}{2} / P = \sin \theta$$

$$P = \frac{F}{2 \sin \theta}$$

集中荷重

○ ガリの場合には 裂けではないかもしれない。(摩擦の点は考え方は違う)



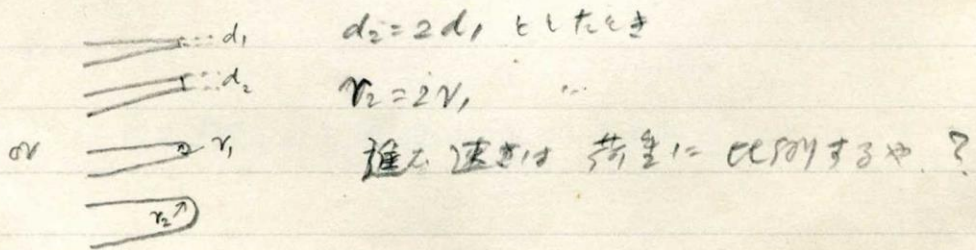
従って先端の鋭さのみで、elementを切断するのは
92か問題... elementの切断には0か問題になる
衝撃と Creep の両方

鉛筆を削っておいて切る場合とは異なる筈 (要実験)

○ 刃で切る場合の仕事量の測定

○ $W = f(\theta, R)$ R ... 尖鋭度

○ リングの存在をふくむ 尖鋭度とみて κ は力かエネルギーか



5月1日 午前日記 鋼の試験 於 東京製鋼

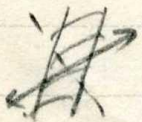
			ル	ル	55 kg
90°	マ=5	12 m/m	2	1	切
"	マ=12	11 m/m	3.5	4.5	"
	"	8 m/m	3	3	不
カ30°	"	8 m/m	2.5	2	切 水
45°	"	11 m/m	3.5	4.5	" 水
?	"	8 m/m	2	換 1.5 高 1.	不

今迄の研究は...

岩角の test

- 1) 又の 科学的 Test 方法 新らしい単位 \rightarrow 一定圧力による どの圧力か
- 2) 硬度の測定
- 3) よりの 影響 6) と肉厚あり
- 4) 磨耗とは 何を意味するか
- 5) 分子切断とは
- 6) ゴム、ゴムの 一対の づつ 切れてゆく
その 4) の 固体の よりに なる 113 の だけ ないか
- 7) 岩角に 厚み がある 1.5 くらい 9) 何を 意味するか
それは エネルギー が たくさん 入る
- 8) Notch Effect
- 9) 鋼の サンプル 50 kg まで 切れるまで Test する
これは 2 つ 5 倍 用意 する
- 10) 9) の 抵抗力

11)



島田商事 件、町、2115、原田さん 23-3600 ドライアイ

- 12) 尖鋭の 鋭い 1.5 以上 集中 荷重 意味 する かな 穴 だけ かな
その 10 倍

13)



何を みる Test する

- 14) 穴 だけ かな

今 8m/m + 10V の 端むすむ の場合 切断抗強力を 1925kg の値
 算出 (440kg + 620kg) × 1/2 = 530kg. (この値の理由不明) ①
 とす. この値は 5m 又は 支具が 力点の 場合にて 大凡 全長の 1/2 である
 8m/m + 10V, (伸縮 - 強力) Carver による. このサイル 1m の 仕事は
 $\frac{1}{2}(27375 - 12420 + 510) = 7732$
 故に 77 kgm とする

② 赤糸の場合 600kg とすは 6表から (伸縮 13%)
 $(11536 - 5092) \times \frac{1}{2} = 3222$
 故に 32 kgm とする (30kgm 値がある 7370 5230kg)

この赤糸 2m のサイルにて 1m を 落下させれば, 切断抗強力を 2m とすは, 落下の
 工数は $R = (1 + 2 \times 0.13) = 1.26m$

55kg とすから $W = MR = 55kg \times 1.26m$
 $= 69.3 kgm$

55
 1.26

 330
 110
 55

 6930

他方 2m のサイルが 切断抗強力を 2m とすは
 $32 \times 2 = 64 kgm$

故に サイルは 力点で 切断する

1.26
 32

 40

③ 又 8m/m + 10V 3m にて 3m 落下させれば. 切断抗強力を 3m とすは

落下の 工数は

$W = MR = 55 \times (3 + 3 \times 0.42) = 236.5 kgm$

55
 4.2

 165
 220

 23650

3m のサイルの仕事は

$W = 77 \times 3 = 231 kgm$

切断抗強力である

4.2
 25

 210
 84

 1050

④ 力点で 8m/m + 10V 2.5m にて 2m 落下は

落下の 工数は $W = MR = 55 \times (2 + 2.5 \times 0.42) = 170 kgm$

2.5m サイルの仕事は $W = 77 \times 2.5 = 193.5 kgm$

故に 切断する 2.5

2.5
 77

 1925
 1705

EL / 1月30日 96大工学部2号 及 Test 在 200m 位の 高さ

66.5° の 仰角、可動 90kg とすれば 6.78m

可動 20kg 1m の 高さ 6.3 kg/m と なる (15.5%)

又 赤糸では 210kg とすれば (全<解室) $135.6 \times \frac{1}{2} = 67.8$

故に 6.8 kg/m と なる (7.5%)

長さ 1m の 高さ

55kg の 糸を 落下させるとき 切斷する 高さは

1.0m である

$$6.3 = 55 \times (h + 0.15)$$

$$= 8.25 + 55h$$

$$h = 0.03$$

麻では $6.8 = 55 \times (h + 0.075)$

$$= 4.1 + 55h$$

$$h = \frac{2.7}{55} = 0.05 \text{ m}$$

? 糸は 伸縮性 あり show
に 対して 強さ

20kg の 糸では

$$6.3 = 20 \times (h + 0.15)$$

$$= 3 + 20h$$

$$h = \frac{3.3}{20} = 0.16 \text{ m}$$

$$6.8 = 20 \times (h + 0.075)$$

$$= 1.5 + 20h$$

$$h = \frac{5.3}{20} = 0.26 \text{ m}$$

以上の計算は、鋭角の 比 に対しては 概率的 存在 あり 不足 して いる こと

ヤシの字跡

Creep test. 4 m/m 以上

角度	切断荷重 (kg)	仕事/m	20kg shock 1=ヤシの字跡の 高さ	同実験値	備考
120°					
90°					
60°					
45°					

6 m/m 以上 (100kg 以上 52cm 以上の Curve によるもの)

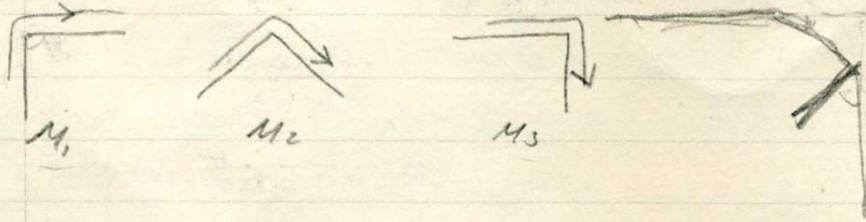
角度	切断荷重	仕事/m	同上	同上
120°				
90°				
60°				
45°				

以上の実験で 鋭角での shock Test に同じ 結果の 差が 発見された
場合

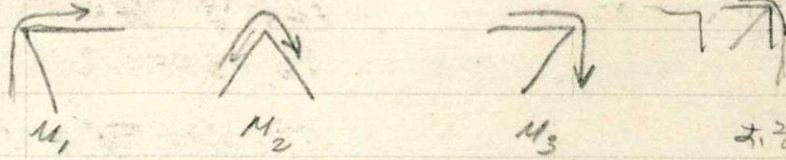
○氷におよぶ場合

ヤスピア実験

90°

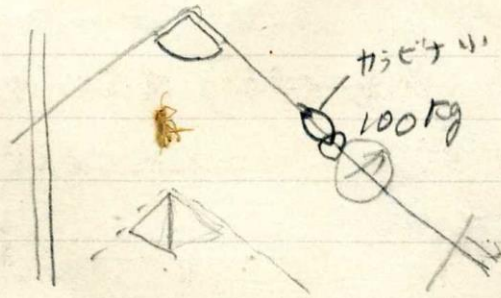
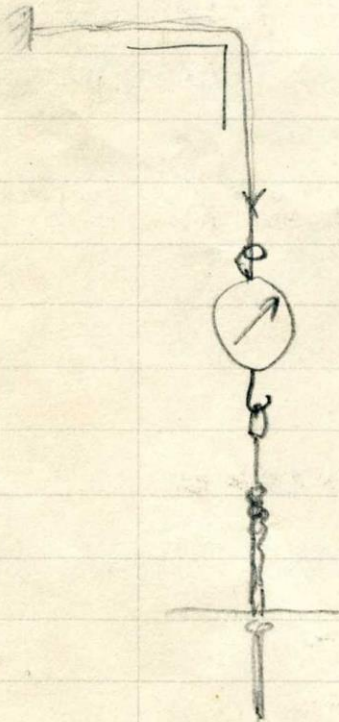


60°



大々々々

$$M_2 > M_1 > M_3$$



I回

5月15日 (日) 赤之字土んて其に

I 回の状態にて

又 90°, ϕ mm + 100 $\frac{1}{3}$

切斷

23K 1回

23K 2"

" $\frac{1}{1}$

45K

8 mm 赤土ん $\frac{1}{1}$

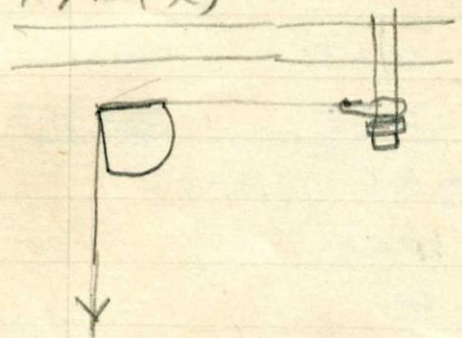
120 kg 2回切斷

36 輪切斷

8 " $\frac{1}{1}$

84 + 32 + 26 = 142 K

5月17日 (火)



4-1回, 40~43 5回

7回 5回 6回 7回 切斷

4=1回 43K 1回 7回切斷

+ 1050 + 100 8回切斷

= 3.7 kg

47 kg 切斷 (荷重一伸切) 曲線 切斷

$l = 1m$ の場合 $47 \text{ kg} \times 0.16 \text{ m} \times \frac{1}{2} = 3.23 \text{ kg m}$

$47 \times 0.16 \times \frac{1}{2} = 3.8 \text{ kg m}$

43	47
15	16
215	282
23	47
1645	752
3,232	376

切斷

上記を無視切斷



$l = 50 \text{ cm}$ の場合 $47 \times 0.04 =$

1.9 kg m

$E = MS$

$= 0.3 \text{ m} \times 7 \text{ kg} = 1.9 \text{ kg m}$

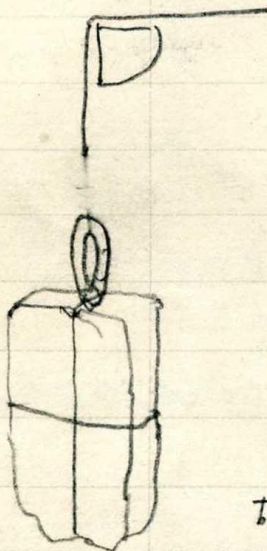
$x = \frac{1.9}{0.3} = 6.33$

$\frac{1.9}{7} = 27 \text{ cm}$

5月22日(日)

Creep Test

43k ... 2本切断
(47k)



カチヤを含む コンクリートブロック 7kg

$$7 \times 27 \frac{\text{kg}}{\text{cm}} = 1.89$$

24

$$47 \text{kg} \times 0.16 \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} = 1.88 \text{kgm}$$

高さ = 50cm, ササヒ 27cm からおとし

- (1) 1回
- (2) 2回

約 30cm でおとし --- 切らす

"

切断 ----- 断の部分

Test 糸をつけたらおとし

- (1)
- (2)

約 30cm --- 切らす

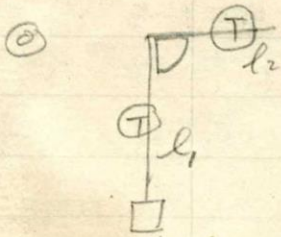
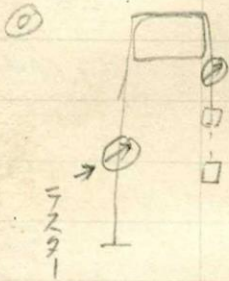
"

切

($l=25\text{cm}$)

約 20cm でおとし --- 切

- ① 人体の揺らぎの様子を測るために、人体と同じ重量の錘の揺らぎを測り、 $r = \frac{1}{5}l$ の $h = \frac{1}{2}l$ 位で、 $\tau = 27 - \tau_{off}$ で両者落下させ、(W-0.2)曲線から人体の揺らぎを測る。これに人体に等しい揺らぎを測る物体をつくる。
- ② 又のときは、人体の揺らぎは、大した影響をあたえないか？



切断時、又、切断前、 l_1, l_2 をかえてみる。これは、4か5か。

③ 又の揺らぎは

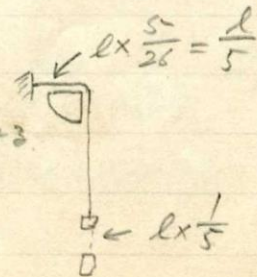
$$\frac{7 \text{ kg}}{280 \text{ kg}} \times \left(\frac{2}{3} \times l\right) = \frac{1}{60} \quad \leftarrow \text{麻でやる, } 3 \text{ m/m か } 12 \text{ cm}$$

$$\frac{70}{840} \times \left(\frac{96 \text{ m}}{2 \text{ m}} \times l\right) = \frac{1}{40} \quad \text{----- } \text{4か5か}$$

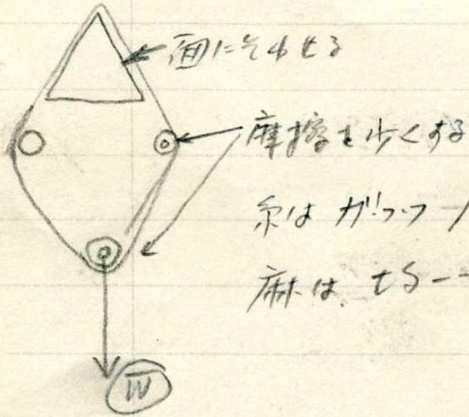
これは、同-揺らぎを麻でやる

$$\text{時} = 280 \text{ kg} \times \frac{70}{840} = 23 \text{ kg}$$

23 kg のものを、 $\frac{1}{5}$ 位で、おこらさる。



尖鋭度の単位として



糸は $\frac{1}{2} \times 10^{-3} \text{m}$ 程度のナイロ糸
 麻は $\frac{1}{2} \times 10^{-3} \text{m}$ 程度から

尖鋭度を顕微鏡に測定するのは、角の
 測定は困難である。当座の問題として一応
 便宜的に解決するために次の式による

$$W = f(\theta, \rho, \mu)$$

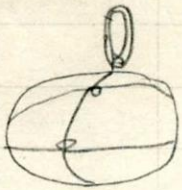
θ : 先端の曲率半径

ρ : 材質

測定範囲、切断前後の W の変化
 は要がある。

5月23日

石補強, 16kg



90° Edge 2枚, $l=50\text{cm}$ 2枚, 1.9kg/m 2枚

長さ 50cm 2枚, 0.95kg/m

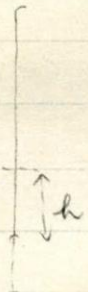
落下工事中 16kg x $(h + 0.16 \times 50)$

故に $1.28 + 16h = 1.9$

$16h = 1.9 - 1.28$

$= 0.6$

$h = \frac{0.6}{16} = 0.04\text{m}$ RPS 4cm



50
0.16
8.0
1.08
16
1.28
16
0.04
4.8
120
142

4mmφ + 40V 4~10cm 2" 一回 2" 切斷

6mmφ 鋼材 "

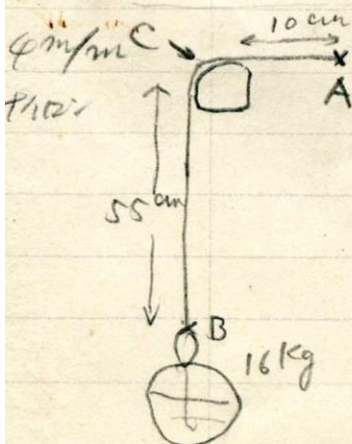
Creep

6mmφ 鋼材 90kg 2" 切斷. 途中 ガタン ガタン 音 振動 合計 5~10kg も 出る.

切斷時は 全部 1/3 弱 に 切れる

8mmφ 鋼材 1,000kg 4cm 2" $\frac{70}{1000} = \frac{1}{14}$

故に 4mmφ 鋼材 280kg 2" 切時は $280 \times \frac{1}{14} = 20\text{kg}$



#1回 SS 50cm 振動計 4バ 44

2 " 55 " " "

3 " 60cm 振動計 4バ 44

と して B または C 2" 切れる 場合

(A) (AC間) 振動計 4バ 44

表7

4m/m + 10mm 結束強度を 180kg とすれば (3倍力 - 伸び) の3

1m の仕事量は 17.30 kgm

たは 50cm には 8.65 kgm

16kg の落下距離は

$$8.65 \div 16 = 54 \text{ cm}$$

大体計算通りである

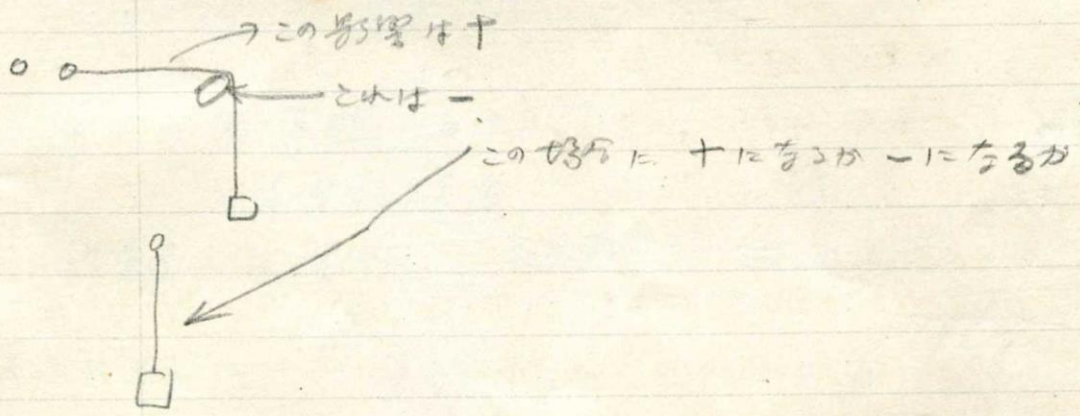
表1表において 東洋製鋼

かいらでなくして 使用法が 各書であつたかどうかに 関係 歸着する

○ 炭化にたいして

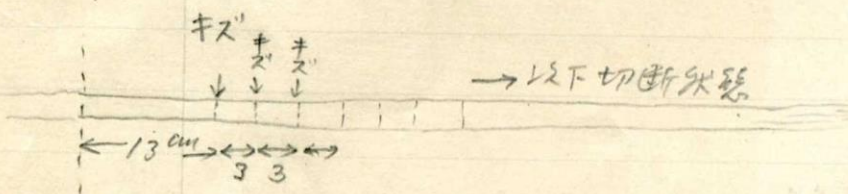
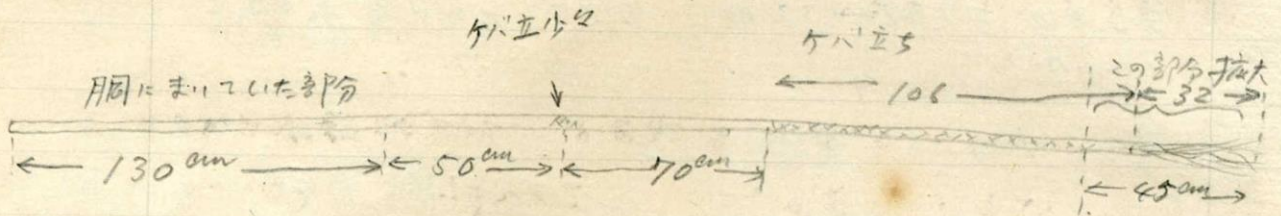
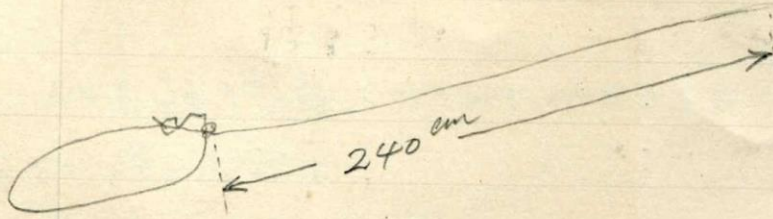
東シは 表7表に於いて、 かつ 2/3 のみ 表7表によ
(97-17)

○ 東シの プリターが 東鋼より先



○ 外子製 Byking と 日本製と 又 又々々々 比較する

8月12日



- ◎ エッコ 作用 集中荷重
- ◎ スチール鋼, 金口
- ◎ ナット, 7002, 54901
- ◎ 刑事裁判中の期間は 27日一年はどうなるか...
- ◎ Alpine Journal ~ 投稿,
- ◎ ナットの太細は関係なし, ナットは 20mm 厚さ 4mm 径
- ◎ 東シ, 日本山岳連盟のナット禁止
- ◎ 符号などは 表紙に 存続のナット 東シ 東国が 8445mm

③ 三本よりのサイズのずれがとれたいところから、その時加圧機への張力が推定出来る 馬車機

④ エアに付いた圧力は

⑤ 実験会から保存された。

⑥ $\frac{F_2}{F_1} = \log \dots$ の式は実験式か理論的証明があるか
11の場合では集中荷重、工場の、LC

豊島区西巣鴨 103,277

日本雪積山岳会 山川 淳

群馬県 倉賀町 1178 本田元光

⑦ 今後のいよいよ... 差別 ガイドにさす

... X-カーはいろいろあったよ

⑧ あの新製品といわれるものは ^{完全確信の地} ^{具体的} との点を ^{試験} 加圧機にされたか

⑨ 加圧機の東洋レコーのレポートは、50.4.29日、東京製鋼蒲郡工場における実験の経路。汽車の中で東洋レコーの記録から寫した。中部日本新聞社 小島一氏も同席。これによつて東洋レコーの実験が東京製鋼の実験の以前であることは明白である。(9月11日、名古屋において) 若山英夫同席。

⑩ 同

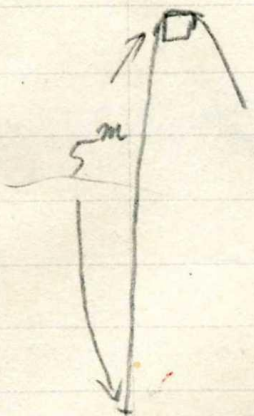
- 加藤士人は 東國のデータを如何にして編むか。
- 公開実験と新聞記事との関係 (北沢氏に主)
- 何故に 8% の抗張力があつたか。
- 藤田先生に会うことは、もし 藤田先生の 著作の 読者の 中から ^{その場} 選ば
 られて しゃべり 試に 変更してなる。
 この事は、 当方に 錯誤があるか、 ほとんど 進め ^(強) 取ら なければならぬ
 ことか。 先生の 著作の場合、 合はばに 進め 方がよい。
 向うの トロ試験 なる 可能性あり
- 2) 29/4 の 実験は、 東國の地 今冬の 材料 切断の 原因究明を
 主たる 目的と されたのではなからか
- 1*) 先生は、 29/4 を 指導 されたか
- 3) 加藤氏の 記事は 誤りがあるか
実験に 参加して
- 4) 実験は 実際の 岩場では ないが 特殊な 状態で 行われ
 たか どうか 結果は 如何に
- 5) 日本的 権威者 指導による 大規模な 研究の 公開実験 (並に、
 新聞記事 所載) といふ ことは、 どの 実験から つけられる 一般の
 5) 見解 (中) 29/4 年 12/10

OS 号誌 → AOS 70 大切

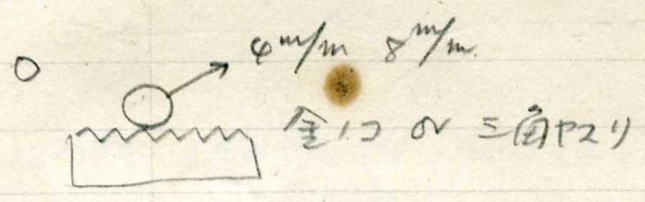
- 水平の 岩面に 150 は 古く 効
 斜路に すれば、 適合 又 効果 (動 ^(動) 効果)

岸

- 東壁の場合 33 cm 傷があるといふことは ?



$$33 \text{ cm} \times \frac{100}{115} = 29 \text{ cm} \quad \text{砂筋}$$



直徑に依 (M の 4 の 大 2 寸 1 寸 2 寸)
 回転 (静圧) と 滑動 と の 肉 保 け ます ？

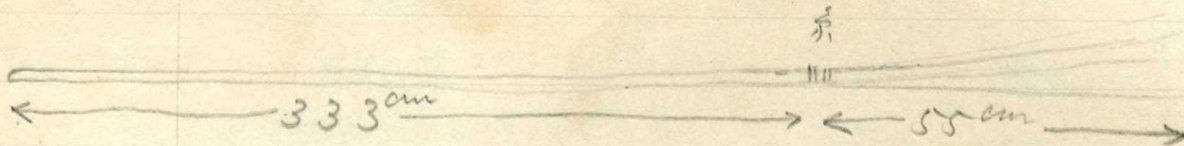
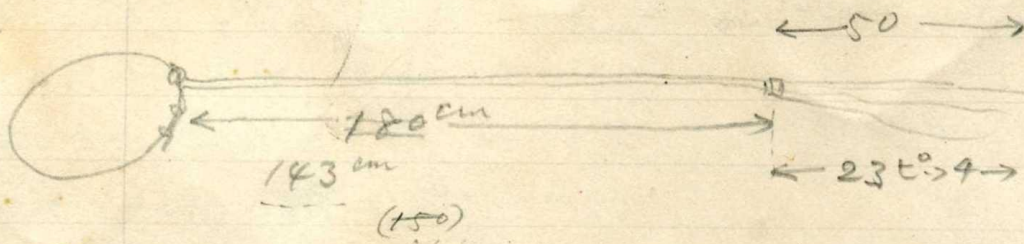
○ 異口化, 全館実験

やる時 実験 と やる 方が ない → ここまで 行 ない こと
 七 115 欠陥 加 予め 察見 され 可能性 は
 実験 と 予め やつ みる こと

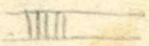
その 際 異口 異口 にか け ば 切 断 の お じ ゃ あり

音 角 は 別 用 打 き 込 め る か 支 持 鏡 音 角 に かけ ば い け ない (A)
 この 限 界 を ^(静圧) 科学的 な 基礎 なく 経験 的 な も の に も つ づ いて
 やつ きた。 しか し その 基 礎 とな る ガ ン は 麻 である, 即 ち
 即 ち 経験 的 な 麻 的 な, 又 滑動 と の 状 況 と 相 対 的 に なる
 事件 の お じ ゃ 同一 の 条件 で 麻 で 行 わ れ ば 切 断 され ない はず
 音 角 の 経験 上 による 仕様 使用 は 正 しか った こと になる
 大 口 ガ ン 打 入 れ ば 即 ち 音 角 は (A) を 忠 実に 行 っ たら
 け ない こと。 その 場合 に ガ ン が 切 断 され ば 音 角 打 入 れ ば
 加 へ たら け ない こと である。 又 音 角 打 入 れ ば 音 角 打 入 れ ば
 明 証 され たら け ない。

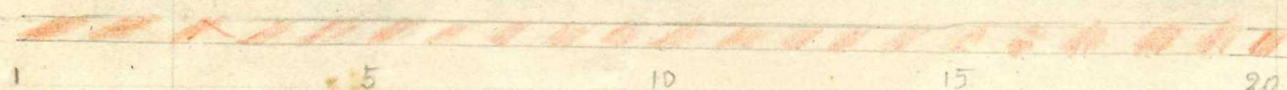
10月20日(日) 支那 鋼線 検査



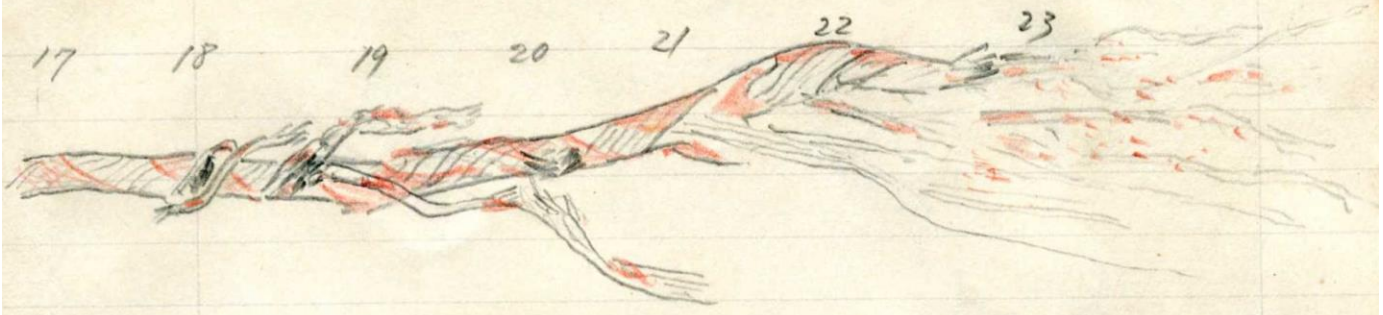
ワイヤル → 3本のストラット, 1. ストラット → 12本の鋼線束



内側 2 (真白く光る) (10)
外側 10

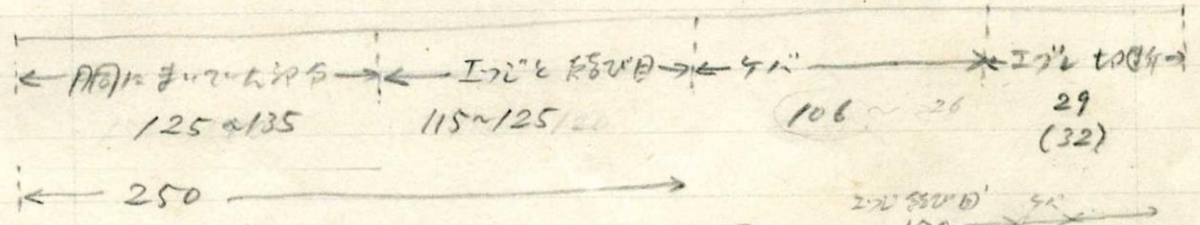


位置	セ=1束の損傷状況	布 厚
1~9		軽 " 通常のワイヤ
10	半分位の損傷 3本	エケル感
11		ワイヤが 10E なる位
12	半分 5本	}
13	"	
14	"	
15	"	
16	"	
17	"	8E くらい
18	切断 2本	ひどい損傷
19	切断 3本	"
20	"	
21	切断 5本	
22	切断 6本	ぼろぼろに壊れた
23	" 9本	完全な切断 2本の寸長

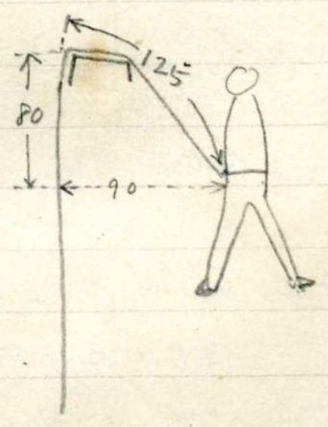


13⁰²⁴⁹ の幅の中心の長さ 28.5cm

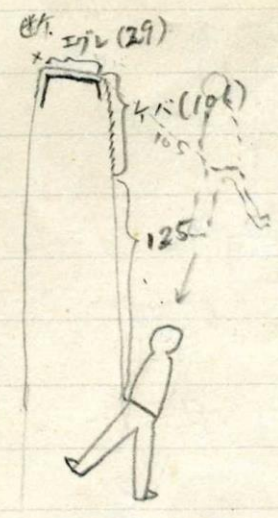
10月12日 各回の高さは、4バ立ちか、切替のとき、止したと仮定すれば、又、2回の
 内径位置をよいこすれば



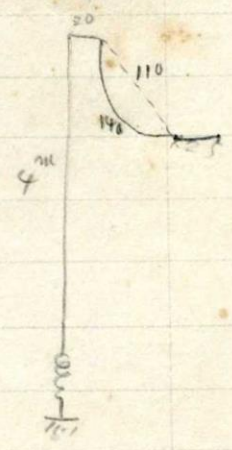
折れこみは 折れこみ 折れこみ 折れこみ



転落前



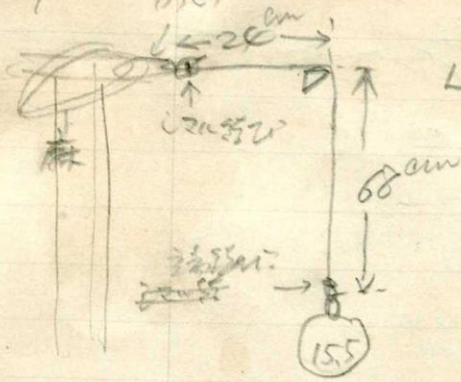
転落後



◎ 制動距離をある程度に保つて、折れこみ折れこみ折れこみ折れこみの制動力は
 ある程度

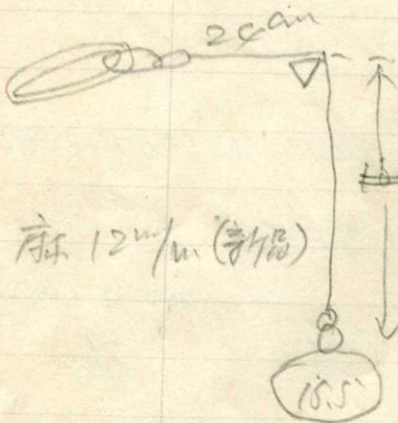
1-1 のデータ

たけの重さ (31kg)



90° I 型

$L = 68 \text{ cm}$ $h = 44 \text{ cm}$ 切りす
 $h = 60 \text{ cm}$ (切り)

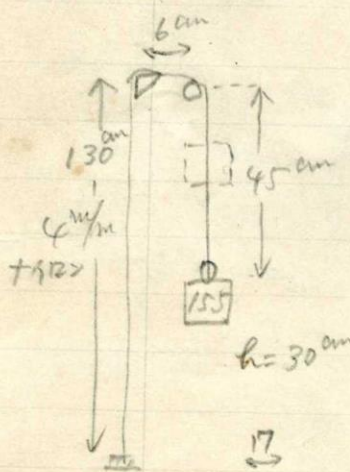


90° I 型

$L = 78 \text{ cm}$ 切り
 70 cm 切りす

$\frac{1}{3} \times \frac{2}{3}$, 持ち高

たけの重さ



実験にかかり近いと思ふ

たけの重さ $12 \times \frac{1}{4}$

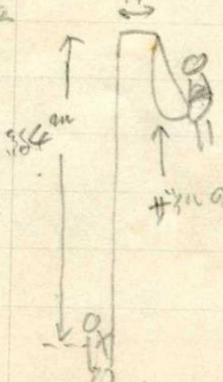
たけの重さ 4 kg 10 軸抗力 210 kg

平均実験データ 270 kg

たけの重さ $12 \times \frac{1}{4}$ 10 軸抗力 1030 kg

平均実験データ 840

実験は



たけの重さ $140 \sim 210 \text{ cm}$
 荷重は

○ 木土切の場合、鋸と刀で切ると、この差が5%

○ 刀に片刃鋸と両刃鋸では、片刃の場合鋸歯の全部から切れる

鋸歯は5割、より、5割の向がマツ

○ 困難と危険とは別、--- 困難を愛するが 危険は大きい

○ $A + A \geq B + B$

今回の講習が

○ 群馬高校での山の話 → 羊や友の死 生き残るよさに切れる

○ 今夏の二つの 遭難 → 何を理論的にとらえられるか ← 技術

○ 岩登りの社会的地位の確立について。 予可抗力の

○ 山とスラム 費用論

○ ギャラリー

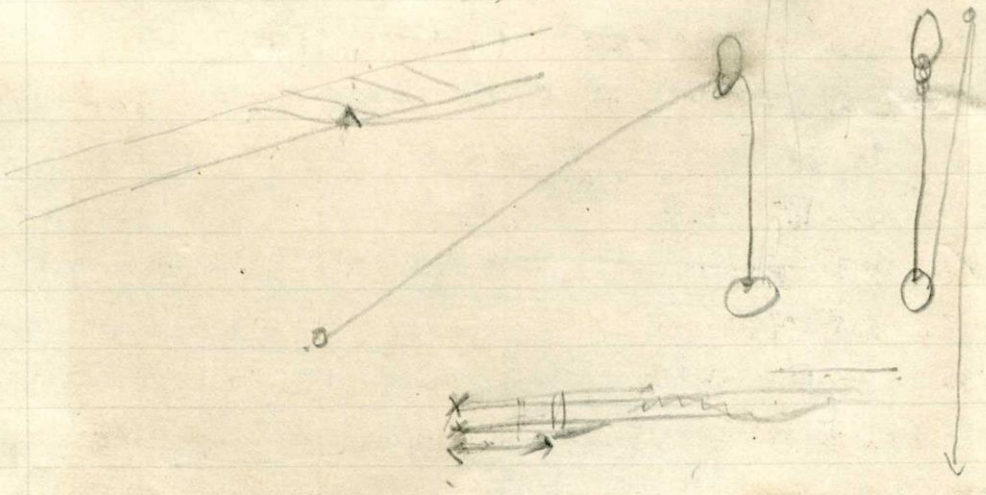
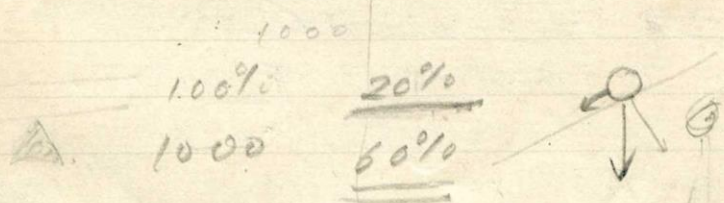
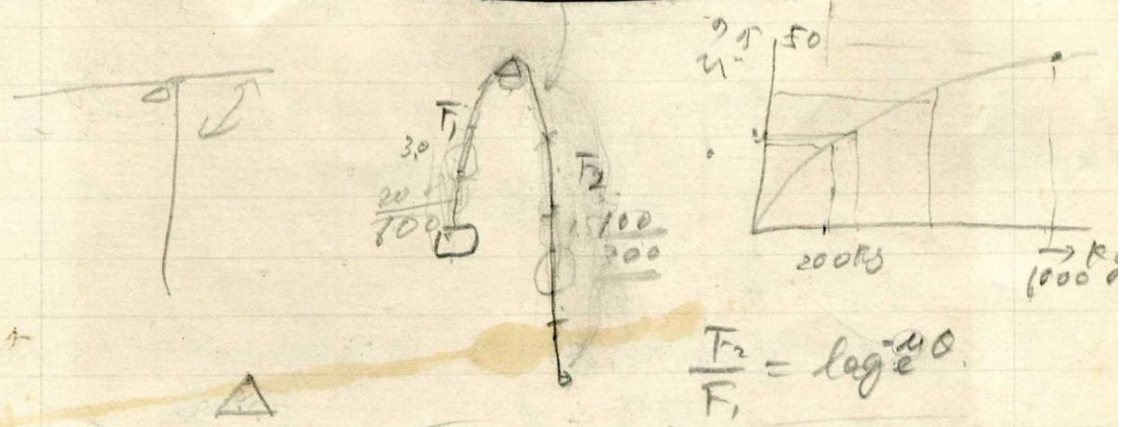
○ 岩登りの社会的にわたる長・短

熱情は誰をたはいてもおこるが 岩登りの明確な発展のためには
重要である。しかし、家族から大切な子息を引っぱり去るには、それが
それだけの罪を感じる。

明細書 荷重の急激な増加にお

稱 2000kg (降路等の) 衝撃にお

降路における (登山) 網切断防止のため、後



は 84. ... 困難を覚わらば 危険は大きし !!

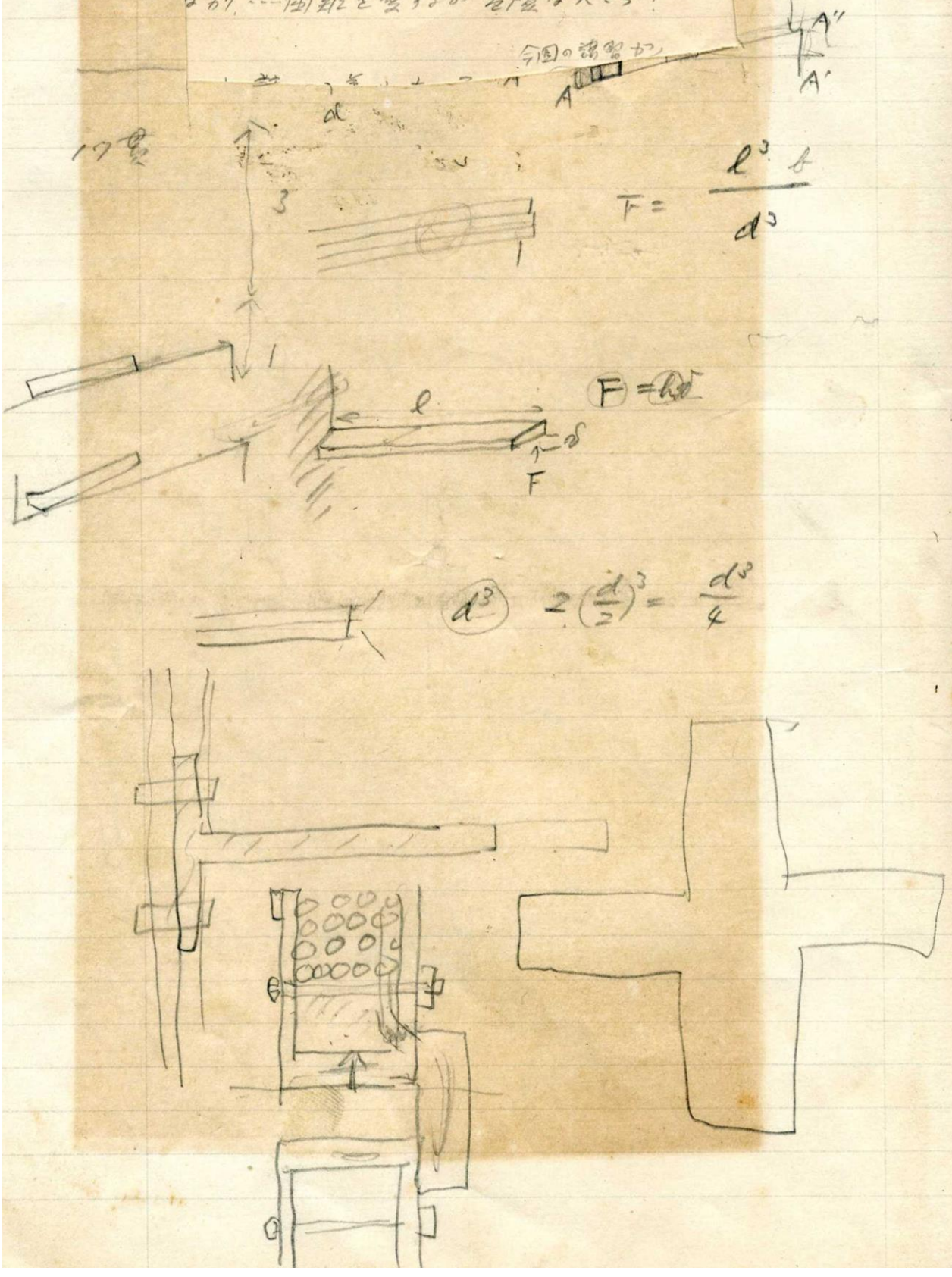
今圖の諸量如し

178

$$F = \frac{l^3 \delta}{d^3}$$

$$F = \frac{hd^3}{4}$$

$$d^3 = 2 \left(\frac{d}{2}\right)^3 = \frac{d^3}{4}$$



明細書 荷重の軽減(意)による

一、発明の名称 ²⁰⁰³ 登山中の墜落における(登山)綱切断防止のための緩衝装置

一、発明の性質及目的の要領 綱の切断は

本発明は、^(12mm)登山綱を使用し登山者(者)が、墜落事故を起した
場合、登山綱に急激に加わる張力を軽減緩和(緩衝)装置(1)を
付すこと、^(意)その目的は、登山者の墜落による登山綱の切断
を防止することにある。 荷重の軽減(意)

一、図解の略解 (本図は本図AAの断面図)

本一図は本発明の側面図、本二図は縦断面図、本三図は実施例
の側面図である。

一、発明の詳細な説明

本図に示す本発明の実施例を説明する。

従来登山用に使用されてきた綱は、 12mm 径の麻製又は鋼製
の抗張力は 1000kg 程度である。これは墜落事故の際に生ずる

(抗張力) ^(12mm)綱の切断防止装置(意) ^(意)に生ずる張力に
対して、^(12mm)綱が切断される上り(意) ^(意)に生ずる張力に
対して、^(12mm)綱が切断される上り(意) ^(意)に生ずる張力に

60kgの体重の者が、^(12mm)綱に支えられ、^(12mm)綱が切断され、^(12mm)綱が
切断される上り(意) ^(意)に生ずる張力に

墜落の際に生ずる張力(意) (意) ^(意)に生ずる張力に

例として、 12mm 径の綱を使用する場合、
この綱は切断防止装置(意)に生ずる張力に
本発明は、この張力を除くために

綱の切断防止装置の抗張力を増加せしめ、^(意)に生ずる張力に
対して、^(12mm)綱が切断される上り(意) ^(意)に生ずる張力に
本発明は、この張力を解決せしめ、^(意)に生ずる張力に
次に実施例の図を説明する。

(摩擦)力を利用し、^(意)に生ずる張力に 単独のフックは、^(意)に生ずる張力に

力がかかる。本発明は、^(意)に生ずる張力に 27mm径のフックにかかる張力は、 27mm 径の
フックに大きくなるため、本発明は、^(意)に生ずる張力に

刑法 廿二章 過失傷害の罪

才 209 條 過失に因り人々を傷害したる者は 500円以下の罰金又は科料に處す

2, 前項の罪は告訴を以て之を論ず

過失傷害 公訴時効3年 刑罰 250 5. 告訴 刑罰 230-235, 輕犯 - 11 罰金臨指三.

才 210 條 過失に因り人を死に致したる者は 1000円以下の罰金に處す

過失致死 * 公訴時効3年 刑罰 250 5. 三

才 211 條 業務上必要なる注意を怠り因り人を死傷に致したる者は 3年以下の禁錮又は 1000円以下の罰金に處す, 重大なる過失に因り人を死傷に致したる者亦同じ

業務上過失, 重過失致死傷, 公訴時効3年, ...

民法 廿五章 不法行為

才 709 條 故意又は過失に因り他人の財産を侵害したる者は 之に因り生じたる損害を賠償する責に任ず

才 711 他人の生命を害したる者は 被害者の父母, 配偶者及び子に對しは 其財産を害せられたる場合においても損害の賠償をなすことを要す

才 722. 才 417 條の規定 (損害賠償に因りたる) は 不法行為に於て損害の賠償に之を準用す

2) 被害者に過失ありたるときは 裁判所は 損害賠償の額を 定むるに付き 之を 斟酌することを得

金額賠償, 過失・相殺

才 724 不法行為による損害賠償の請求権は 被害者は 其の法定代理人が 損害及び加害者を 知りたる時より 3年間 消滅するときは 時効により消滅す, 不法行為の時より 20年を 起算したるとき亦同じ

生室 人教

田中一郎 担当

私は某会社の隣接地に借家十戸を所有し、家賃で生活をしているものであるが、同会社の失火

により私の借家十戸は類焼を受け全焼しました。その後生活にも困りますので会社に対し損害賠償を請求したいと思っております。この失火については損害賠償の請求はきかないとのことですが、その理由と法的根拠を教え

て下さい。(桑名・K生)

答

どんな失火でもすべて失火者にその責任がないというわけではなく、その失火に

類焼した借家の賠償は？

刑事処分後に請求訴訟を決めよ

規定は失火の場合には適用せず、ただし失火者に重大な過失ありたるときはこの限りにあらず」と規定せられており、また民法第七百九条には「故意または過失により他人の権利を侵害したる者はこれによりて生じた損害を賠償する責任を任ず」と規定せられてお

規定は失火の場合には適用せず、ただし失火者に重大な過失ありたるときはこの限りにあらず」と規定せられており、また民法第七百九条には「故意または過失により他人の権利を侵害したる者はこれによりて生じた損害を賠償する責任を任ず」と規定せられてお

ように、会社の失火がとくに大きな過失による場合には損害賠償責任があるが、普通程度のちよつとした不注意による場合には責任がないことになり、類焼者は災難にあきらめなければならぬことになり、刑事責任を問われ、いずれそのうちに起訴、不起訴または判決による結果が判明するので、その刑事処分により失火原因ならびに過失の程度が明確になるのを待つて、損害賠償請求訴訟を提起するか否かをおきめになって下さい。

九条には「故意または過失により他人の権利を侵害したる者はこれによりて生じた損害を賠償する責任を任ず」と規定せられてお

2/26	テグ入糸	145
2/27	1-ト	40
"	セナグイン	40
"	青赤鉛筆	10
	銀唇支掛	750
3/10	" 増粒	200
	20kg 18カリ 2.	1,500
	4m/m 付和	500
	木棒, 木等	3,000
	100kg 18カリ	300
	4m/m 付和	1,000

7,485円